

数学科

2 年 【105時間】

月	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
目 標 ・文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ・文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。		
4	式の計算 ・式の計算	【知技】 単項式や多項式の計算をすることができる。 【知技】 数量及び数量の関係を文字式を使って一般的に説明することの必要性と意味を理解している。
5	・文字式の利用	【思判表】 単項式や多項式の計算の方法を、1年生で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 【思判表】 数量及び数量の関係を文字式を使って説明することができる。 【主】 文字を用いた式の必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
6	連立方程式 ・連立方程式 ・連立方程式の利用	【知技】 事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。 【思判表】 連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 【思判表】 連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 【主】 連立方程式の必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
7	一次関数 ・一次関数とグラフ	【知技】 一次関数の意味を理解している。 【知技】 一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題を処理することができる。
9	・一次関数と方程式 ・一次関数の利用	【思判表】 一次関数の特徴に着目して表、式、グラフを考察し表現することができる。 【主】 一次関数の必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
10	図形の調べ方 ・平行と合同 ・証明	【知技】 図形の性質の意味を理解している。 【知技】 証明の進め方について理解している。 【思判表】 図形の性質を考察し表現することができる。 【思判表】 図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。 【主】 図形の性質などを証明することの必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
11	図形の性質と証明 ・三角形 ・四角形	【知技】 図形の性質の意味を理解している。 【思判表】 図形の性質を考察し表現することができる。 【思判表】 三角形の合同条件などをもとにして、図形の性質を論理的に確かめ証明することができる。 【主】 図形の性質などを証明することの必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
12		
1	場合の数と確率 ・場合の数と確率	【知技】 確率の必要性と意味を理解している。 【知技】 問題を解決するために、場合の数を求めたり、確率を求めたりすることができる。
2		【思判表】 確率の求め方について考察し表現することができる。 【主】 確率の必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。
3	箱ひげ図とデータの活用 ・箱ひげ図	【知技】 箱ひげ図や四分位範囲の意味を理解している。 【思判表】 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、考察し表現することができる。 【主】 箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を考え、学んだことを生活や学習にいかそうとし、問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。